

Kulturkalender

2018

4
APR

5
MAI

6
JUN

KULTUR AUS ÖSTERREICH IN JAPAN

音楽 musik



ウィーン少年合唱団
Wiener Sängerknaben



ルッツ・レスコヴィッツ (ヴァイオリン)
Luz Leskowitz (Violine)



エルンスト・ヴァリー (パイプオルガン)
Ernst Wally, Domorganist von St. Stephan Wien



ゴルナー & マハーン (ワールドミュージック)
Golnar & Mahan (Weltmusik)



ブルーブルート (実験音楽)
Blueblut (Experimentelle Musik)



ハイドン・フィルハーモニー
Haydn Philharmonie

Shampoo Boy (エレクトロ・ポップ)
ペーター・レーベルク、クリスティーナ・ネメツ & クリティアン・シャーチンガー

4月12日 東京、Superdeluxe
4月14日 西宮、兵庫県立芸術文化センター
4月15日 福岡、Gallery Soap

Chra (エレクトロ・ポップ)

4月22日 東京、solfa

ウィーン少年合唱団

4月28日～6月17日 日本各地をツアー

Information: ジャパン・アーツ Tel. 03-5774-3040
http://www.japanarts.co.jp/wsk2018/english.html

マティアス・ライントラー (テノール) & 森尚子 (ピアノ)

5月16日 大阪府茨木市、ローズ WAM ワムホール
5月19日 熊本、宇土市民会館
5月26日 三沢、カワヨグリーンロッジ

**ザルツブルガー・シュロスコンツェルト
ルッツ・レスコヴィッツ (ヴァイオリン)**

5月19日 京都、浄住寺
Information: Tel. 090-1959-9219

5月20日 中金堂再建記念演奏会 奈良、興福寺
Information: Tel. 0742-22-7755

**インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン 2018
エルンスト・ヴァリー (パイプオルガン)**

6月20日 東京、カテドラル関口教会聖マリア大聖堂
6月22日 神奈川県民ホール

Information: http://iofj.net/

ゴルナー & マハーン (ワールドミュージック)

6月21日 倉敷
6月22日 名古屋
6月23日 東京、赤坂区民ホール

Information: http://www.golnarandmahan.com/

ブルーブルート (実験音楽)

6月22日 千葉、ジャズスポットキャンディ
6月23日 東京、OTOOTO
6月24日 大阪、Environment 0g
6月25日 神戸ビッグアップル
6月26日 岡山、ペッパーランド
6月27日 福岡、ニューコンボ
6月28日 宮崎、ライフタイム

Information: http://www.blueblut.net/

ザ・クラリノッツ

6月24日～28日 神戸、高崎、三鷹、東京で公演

Information: http://www.hirasaoffice06.com/artists/view/76?artist=Ensembles

ハイドン・フィルハーモニー

6月24日 アクロス福岡
6月26日 札幌コンサートホール Kitara
6月27日 刈谷市総合文化センター
6月28日 長野市芸術館
6月30日 東京、サントリーホール

Information: http://www.proarte.co.jp/overseas/artist-backnumber/HaydnPhilharmonie.php

Shampoo Boy (Electro-Pop)
Peter Rehberg, Christina Nemeč & Christian Schachinger

12. Apr. Superdeluxe, Tokyo
14. Apr. Hyogo Performing Arts Center, Nishinomiya
15. Apr. Gallery Soap, Fukuoka

Chra (Electro-Pop)

22. Apr. solfa, Tokyo

Wiener Sängerknaben

28. Apr. – 17. Jun. Konzerttournee in diversen japanischen Städten

Information: Japan Arts Corporation Tel. 03-5774-3040
http://www.japanarts.co.jp/wsk2018/english.html

Mathias Reinthaller (Tenor) & Naoko Mori (Klavier)

16. Mai Wam-Saal des Rose Wam Haus, Ibaraki, Osaka
19. Mai Uto Shiminkaikan (Stadthalle), Kumamoto
26. Mai Kawayo Green Lodge, Misawa

**Salzburger Schlosskonzert
Luz Leskowitz (Violine)**

19. Mai Joujuji, Kyoto
Information: Tel. 090-1959-9219

20. Mai Kofukuji, Nara
Information: Tel. 0742-22-7755

International Organ Festival in Japan 2018

Ernst Wally, Domorganist von St. Stephan Wien

20. Jun. Sekiguchi Catholic Church, Tokyo
22. Jun. Kanagawa Kenmin Hall

Information: http://iofj.net/

Golnar & Mahan (Weltmusik)

21. Jun. Kurashiki
22. Jun. Nagoya
23. Jun. Akasaka Kumin Hall, Tokyo

Information: http://www.golnarandmahan.com/

Blueblut (Experimentelle Musik)

22. Jun. Jazz Spot Candy, Chiba
23. Jun. OTOOTO, Tokyo
24. Jun. Environment 0g, Osaka
25. Jun. Big Apple Kobe
26. Jun. Pepperland, Okayama
27. Jun. New Combo, Fukuoka
28. Jun. Lifetime, Miyazaki

Information: http://www.blueblut.net/

The Clarinotts

24. – 28. Jun. Kobe, Takasaki, Mitaka, Tokyo

Information: http://www.hirasaoffice06.com/artists/view/76?artist=Ensembles

Haydn Philharmonie

24. Jun. Acros Fukuoka
26. Jun. Sapporo Concert Hall Kitara
27. Jun. Kariya Cultural Center
28. Jun. Nagano City Arts Center
30. Jun. Suntory Hall, Tokyo

Information: http://www.proarte.co.jp/overseas/artist-backnumber/HaydnPhilharmonie.php

ダンス tanz



ウィーン国立歌劇場バレエ団
Wiener Staatsballet

ウィーン国立歌劇場バレエ団

ヌレエフ・ガラ

5月9日18:30、5月10日14:00
東京、Bunkamura オーチャードホール

『海賊』

5月12日12:30/18:30、5月13日14:00
東京、Bunkamura オーチャードホール

5月15日19:00
大阪、フェスティバルホール

2012年以降の来日となるウィーン国立歌劇場バレエ団は、今回の来日公演で、芸術監督マヌエル・ルグリの振付による『海賊』と、ルドルフ・ヌレエフのオマージュであるガラ公演を披露する。

Information: http://www.bunkamura.co.jp/orchard/lineup/18_wiener.html

Wiener Staatsballet

Nurejew Gala

9. Mai 18:30, 10. Mai 14:00
Bunkamura Orchard Hall, Tokyo

『Le Corsaire』

12. Mai 12:30/18:30, 13. Mai 14:00
Bunkamura Orchard Hall, Tokyo

15. Mai 19:00
Festival Hall, Osaka

Mit Le Corsaire sowie einem fulminanten Galaprogramm erweist sich das Wiener Staatsballett unter der Leitung von Manuel Legris einmal mehr als ein idealer Botschafter österreichischer Hochkultur und kehrt nach seiner gefeierten Japan Tournee im Jahr 2012 nach Tokio und Osaka zurück.

Information: http://www.bunkamura.co.jp/orchard/lineup/18_wiener.html

演劇 theater

ミュージカル『モーツァルト!』

5月26日～6月28日 東京、帝国劇場

Information: http://www.tohostage.com/mozart/

Musical „Mozart!“

26. Mai – 28. Jun. Imperial Theater, Tokyo

Information: http://www.tohostage.com/mozart/

インターネット、SNS でも情報発信中!

web <http://www.austrianculture.jp/>
facebook <http://www.facebook.com/#!/AustrianCulturalForumTokyo>
twitter <https://twitter.com/ACFTokio>

「オーストリアのドイツ語」 twitter アカウント

http://twitter.com/austrian_german

発行者: オーストリア大使館
編集: コンスタンティン・サウペ、曾我晶子 デザイン: ハイアートデザインスタジオ
当刊行物は2018年3月1日現在の資料を基に細心の注意を払って編集しておりますが、
内容変更や記述によって生じたトラブルに際し発行者は法的責任は一切負いません。
内容に関してのご意見、ご質問はオーストリア大使館文化フォーラム
〒106-0046 東京都港区元麻布1-1-20 Tel. 03-3451-8281 までお寄せください。

Herausgeber: Österreichische Botschaft / Kulturforum
Redaktion: Konstantin Saupe, Akiko Soga Gestaltung: HiART DESIGN STUDIO
Änderungen vorbehalten. Für die Richtigkeit und Vollständigkeit der
Angaben kann keine Gewähr übernommen werden.

オーストリア文化フォーラム



ausstellungen



フェリックス・ディークマン
Felix Dieckmann

Behind the Terrain: sketches on imaginative landscapes

ステファニー・ミサ、ヴェロニカ・ブルガー、エファ・エンゲルベルト、丸山美佳、オリヴァー・クミラルが参加

5月12日～27日 小金井アーツスポットシャトー2F

丸山美佳とステファニー・ミサのキュレーションによる合同プロジェクトで、オーストリア、オランダ、日本、ベトナム、インドネシアのアーティストが参加する。テーマは、記憶の政治、記憶や個人の歴史性の相関関係の中で生じる問題点に取り組み、5月19日(武蔵野美大)、5月20日(小金井アーツスポット)にて、同テーマのシンポジウムも予定されており、オーストリアのアーティストもスピーカーとして参加予定。

Information : <http://sketchlands.tumblr.com/tokyo>

フェリックス・ディークマン „re: exposition“

5月18日～21日 聖イグナチオ教会(東京)、広島平和記念資料館

Information : <http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/>

カタリーナ・グルツァイ 「Quiet Dialogue: インビジブルな存在と私たち」に参加

6月9日～7月1日 東京都美術館

Information : <https://backandforthcollective.wordpress.com/>

「ゲッベルスと私」

監督: クリスティアン・クレーネス、フローリアン・ヴァイゲンザマー、オーラフ・S・ミュラー、ローラント・シュロットホーファー

6月 東京、岩波ホール

2016年に制作された、ナチスの宣伝大臣ゲッベルスの秘書を3年間務めたブルンヒルデ・ボムゼルについてのドキュメンタリー映画。ボムゼルはこの映画で初めて、独裁者ヒトラーに近い立場での個人的な経験や、疑問、不安、罪悪感などについて語っている。2017年にボムゼルは106歳で亡くなり、この映画が最後の証言となった。

日本公開に先駆け、監督を交えて関連イベントも開催される。

5月22日 東京大学駒場キャンパス
「ゲッベルスと私」上映 & クリスティアン・クレーネスと石田勇治教授の対談

5月23日 紀伊國屋書店新宿本店9F イベントホール
クリスティアン・クレーネスのトーク

5月25日 大阪ビジュアルアーツ
ジャーナリズムコース学生向け上映&ワークショップ

5月25日 紀伊國屋書店梅田本店
クリスティアン・クレーネスのトーク

Information : <https://www.sunny-film.com/a-german-life>

「世界で一番の幸せ」

アドリアン・ゴイギンガー監督
EUフィルムデイズ2018での上映

5月26日～6月21日 国立映画アーカイブ
6月2日～24日 京都府京都文化博物館
7月1日～12日 広島市映像文化ライブラリー

元気で想像力豊かな7歳のアドリアンは、母親ヘルガの献身的な愛を一身に受け、ザルツブルク郊外で幸せな生活を送っていた。実はヘルガはドラッグ中毒で、息子との生活を守るためにその事実をひた隠しにしていた。ところがある日、ドラッグディーラーが彼らのアパートで不審死を遂げ、警察沙汰となってしまう。ヘルガは、最愛の息子を失わないために今度こそきっぱりとドラッグを断つ必要に迫られる。監督自らの回想にもとづく実話。

Information : <https://eufilmdays.jp/>

クリスティアン・ラップ博士による講演会

4月23日 東京ウィメンズプラザ・ホール
「戦争が近づいた時 1914年夏 何があったか」

4月25日 オーストリア文化フォーラム東京
「1918年以降のオーストリア 共和国の100年を振り返る」

4月28日 神戸大学
「戦争が近づいた時 1914年夏 何があったか」

クリスティアン・ラップ博士はキュレーター、多数の大学での講師を務めるほか、2018年よりニードラーエスタライヒ州立歴史館の館長を務める。第一次世界大戦をテーマとした展覧会「歓喜と悲惨—大戦争とともに生きる1914-1918」のキュレーターとして、特に第一次世界大戦に取り組んでいる。

Information : <https://www1.jp.wordpress.com/>

フェリックス・ディークマン講演会

「オペラについて」

5月15日 17:00-19:00 上智大学

Information : <http://dept.sophia.ac.jp/is/ei/>

Ars Electronica Tokyo Initiative's Media FIS Tokyo 2018

5月25日～27日 東京ミッドタウン

「東京は未来のラボである」というタイトルを掲げ、5月25日から28日にかけて、東京ミッドタウンで「Future Innovators Summit TOKYO」が開催される。日本の首都東京をめぐる議論において中心となるのは次の3つの問いである。急速に高齢化の進む社会において、都市での生と死はどうなるのか？ 世界で最も技術の進んだ都市において、モードと進退はどのように進化するのか？ 大都市において、公共性と私生活の関係はどうなっているのか？

Information : <http://www.aeti.jp/>

クリスティーネ・イヴァノヴィチ博士による講演「ヘルガ・ミチエ（イルゼ・アイヒンガーの双子の妹）について」

5月27日 オーストリア文化フォーラム東京

アン・コッテン

朗読会 „Vom gierigen Umherschweifen“

4月12日 オーストリア文化フォーラム東京
ドイツ語、通訳なし

2017年に出版されたアン・コッテンの著書 „Jikiketsugaki. Tsurezuregusa“ は、長年にわたり散発的に日本語と取り組んできた中で成立したテキストを集めたもの。著者がこの本の一部を朗読するほか、失敗やコケツトリ、恥、秩序、E.A. ポーの „Imp of the Perverse“ について語る。

Anmeldung via Online-Formular : <https://goo.gl/forms/f6jBSIH14dlyQI8Y2>

ワークショップ

4月13日 11:00-12:30 上智大学
Information : <http://dept.sophia.ac.jp/is/ei/>

ミレーナ美智子・フラッシュャール朗読会

5月21日 名古屋
5月22日、23日 広島
5月28日、29日 オーストリア文化フォーラム東京ほか
5月31日 明治大学

日本を舞台にした作品「ほくとネクタイさん」が初めて邦訳出版されるのに伴い、作家自身から日、各地で作品の朗読やトークを行う。また、新しい本 „Herr Katō spielt Familie“ も紹介する。

欧州留学フェア2018

5月19日 東京、明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン2F

欧州十数カ国より70あまりの高等教育機関が参加し、それぞれの学習プログラムを紹介する。東京会場には、オーストリア学術交流会の代理でオーストリア大使館も参加する。

Information : <http://www.ehef-japan.org/>

柴又フロリズ通りフェスティバル

5月20日 フロリズ通り、東京都葛飾区

Behind the Terrain: sketches on imaginative landscapes

Gruppeausstellung: Stephanie Misa, Veronika Burger, Eva Engelbert, Mika Maruyama, Oliver Cmyral

12. – 27. Mai Koganei Art Spot Chateau 2F

Die Ausstellung untersucht Fragen, die sich aus der Wechselbeziehung von Erinnerungspolitik, Erinnerung sowie individueller Historizität innerhalb der kritischen Forschung und Kunstpraxis ergeben. Sie ist ein Gemeinschaftsprojekt von österreichischen, niederländischen, japanischen, vietnamesischen und indonesischen KünstlerInnen. Im Rahmen der Ausstellung werden bei einem Symposium zu den Themen der Ausstellung auch die österreichischen Künstler als Sprecher teilnehmen. (19. Mai & 20. Mai).

Information : <http://sketchlands.tumblr.com/tokyo>

Felix Dieckmann „re: exposition“

18. – 21. Mai Sankt Ignatius Kirche (Tokyo), Hiroshima Peace Memorial Museum

Information : <http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/>

Katharina Gruzei Teilnahme an der Gruppenausstellung „Quiet Dialogue: Invisible Existences and Us“

9. Jun. – 1. Jul. Tokyo Metropolitan Art Museum

Information : <https://backandforthcollective.wordpress.com/>

„Ein deutsches Leben“

Regie: Christian Krönes, Olaf S. Müller, Florian Weigensamer, Roland Schrotthofer

Jun. Iwanami Hall, Tokyo

„Ein deutsches Leben“ ist ein österreichischer Dokumentarfilm aus dem Jahr 2016 über Brunhilde Pomsel, die persönliche Stenographin von Joseph Goebbels. Im Film spricht sie erstmals umfassend über ihre persönlichen Erfahrungen im engsten Zirkel um Hitlers größten Hetzer und Massenverführer, über ihre Zweifel, Ängste und ihr Schuldbewusstsein. Der Film ist zugleich ihr letztes Zeugnis: Im Januar 2017 verstarb Brunhilde Pomsel im Alter von 106 Jahren.

Einige Side-Events mit Christian Krönes sind geplant:

22. Mai The University of Tokyo, Komaba Campus
Vorführung des Films und eine Diskussion von Christian Krönes und Prof. Yuji Ishida

23. Mai Books Kinokuniya Shinjuku 9F Event Hall
Talk von Christian Krönes

25. Mai Osaka Visual Arts
Vorführung des Films und Workshop für Studierende

25. Mai Books Kinokuniya Umeda, Osaka
Talk von Christian Krönes

Information : <https://www.sunny-film.com/a-german-life>

„Die beste aller Welten“

Regie: Adrian Goiginger
EU Film Days 2018

26. Mai – 21. Jun. National Film Archive of Japan
2. – 24. Jun. The Museum of Kyoto
1. – 12. Jul. Hiroshima City Cinematographic And Audio-Visual Library

Adrian erlebt eine Kindheit im außergewöhnlichen Milieu einer Drogenszene, und mit einer Mutter zwischen Fürsorglichkeit und Drogenrausch. Trotz allem ist es für ihn eine behütete Kindheit, die beste aller Welten, bis sich die Außenwelt nicht mehr länger aussperren lässt. Helga weiß, sie muss clean werden, um ihren Sohn nicht für immer zu verlieren. Doch dazu muss sie ihre eigenen Dämonen besiegen...

Information : <https://eufilmdays.jp/>

Vorträge von Dr. Christian Rapp

23. Apr. Tokyo Women's Plaza Hall
„Wenn der Krieg nahe rückt – 1914 Sommer“

25. Apr. Österreichisches Kulturforum Tokyo
„Österreich seit 1918 – 100 Jahre Republik im Spiegel der Erinnerung“

28. Apr. Universität Kobe
„Wenn der Krieg nahe rückt – 1914 Sommer“

Dr. Christian Rapp ist Kulturwissenschaftler und Ausstellungskurator, Lehrbeauftragter an diversen Universitäten und seit Beginn des Jahres wissenschaftlicher Leiter des Hauses der Geschichte im Museum Niederösterreich. Als Kurator einer Ausstellung zum ersten Weltkrieg mit dem Titel „Jubel & Elend. Leben mit dem Großen Krieg 1914 - 1918“ beschäftigte er sich intensiv mit dem ersten Weltkrieg.

Information : <https://www1.jp.wordpress.com/>

Vortrag von Felix Dieckmann zum Thema Oper

15. Mai 17:00-19:00 Sophia University

Information : <http://dept.sophia.ac.jp/is/ei/>

Ars Electronica Tokyo Initiative's Media FIS Tokyo 2018

25. – 27. Mai Tokyo Midtown

Unter dem Titel „Tokio als Labor für die Zukunft“ findet von 25. – 27. Mai 2018 der Future Innovators Summit TOKYO im TOKYO Midtown Atrium statt. Im Zentrum der Diskussionen rund um die Zukunft der japanischen Hauptstadt stehen drei Fragestellungen: Wie sieht Tod und Leben in einer Stadt mit der am schnellsten alternden Gesellschaft aus? Wie entwickeln sich Mode und Körper in einer Stadt mit einer der fortschrittlichsten Technologien der Welt? Und wie steht es mit der Beziehung zwischen Öffentlichkeit und Privatheit in einer Großstadt, in der kaum noch öffentlicher Raum zur Verfügung steht?

Information : <http://www.aeti.jp/>

Vortrag von Dr. Christine Ivanovic über Helga Michie (Zwillingschwester von Ilse Aichinger)

27. Mai Österreichisches Kulturforum Tokyo

Ann Cotten

Lesung „Vom gierigen Umherschweifen“

12. Apr. Österreichisches Kulturforum Tokyo,
Sprache: Deutsch

Ann Cottens 2017 erschienenes Buch „Jikiketsugaki. Tsurezuregusa“ versammelt Texte, die im Rahmen ihrer langjährigen sporadischen Beschäftigung mit der japanischen Sprache entstanden. Die Autorin liest Texte aus dem Buch und spricht über Scheitern, Koketterie, Scham, Ordnung und E.A. Poes „Imp of the Perverse“.

Anmeldung via Online-Formular : <https://goo.gl/forms/f6jBSIH14dlyQI8Y2>

Poetik-Workshop

13. Apr. 11:00-12:30 Sophia University
Information : <http://dept.sophia.ac.jp/is/ei/>

Lesung von Milena Michiko Flašar

21. Mai Nagoya
22., 23. Mai Hiroshima
28., 29. Mai Österreichisches Kulturoforum Tokyo u.a.
31. Mai Meiji University, Tokyo

Aus Anlass der Übersetzung ihres Romans „Ich nannte ihn Krawatte“ ins Japanische macht die Autorin eine Lesereise in Japan, bei der sie auch ihr neues Buch „Herr Katō spielt Familie“ vorstellen wird.

European Higher Education Fair 2018

19. Mai
Academy Common 2F, Surugadai Campus, Meiji University, Tokyo

Ca. 70 Institutionen für höhere Bildung aus Europa präsentieren ihre Programme. Die Botschaft wird teilnehmen und Fragen zu Studienmöglichkeiten in Österreich beantworten.

Information : <http://www.ehef-japan.org/>

Shibamata Floridsdorfstrasse Festival

20. Mai Floridsdorfstrasse, Katsushika, Tokyo

film



「ゲッベルスと私」
„Ein deutsches Leben“



「世界で一番の幸せ」
„Die beste aller Welten“

vortrag



クリスティアン・ラップ博士
Dr. Christian Rapp

literatur



アン・コッテン Ann Cotten



ミレーナ美智子・フラッシュャール
Milena Michiko Flašar

sonstiges